

公開シンポジウム「雑草・人・環境シリーズ」

葛からクズへ：日本古来の有用植物がいま強害雑草に

葛は古くから日本人の生活に密接に関わっており、利用を含めて地域社会のシステムの中に組み込まれていました。一方現代社会において雑草問題として深刻化しているクズに対しては、かつての人とのつながりがどのようにして崩壊し、これほどまで大きな雑草問題を引き起こすこととなったのかという問題の本質の理解が進まないまま、それぞれの現場での個別対応にとどまっているのが現状となっています。そこで、本シンポジウムでは、人とのつながりの歴史を振り返り、地域社会にどのように組み込まれていたのかについて理解すること（第1部）、現在の雑草問題のそれぞれの現場における実態と対策の現状を整理することで、どこに問題の本質があるかについて理解すること（第2部）、それらを通じて、個別バラバラに切れてしまったクズと人との関係を見直し、地域の新たなシステムづくりのきっかけとすること（第3部）を目指します。そして、このシンポジウムを、多様な関係者の将来にわたる情報交換システム構築によって、各場面での問題解決に向けた具体的活動に一步を踏み出す契機としたいと考えています。皆様のご参加を待ち申し上げます。



<日時> 平成29年10月15日（日）10時～16時30分

<場所> ウィンクあいち1001号室（アクセスについては裏面参照）

<プログラム>

第1部：葛と人間生活の関わり：利用から被害まで—————10:00～12:00

- ・葛布のお話
- ・葛粉のお話
- ・葛利活用プロジェクト紹介：掛川市の取り組み
- ・葛からクズへ：社会・経済的背景

第2部：クズ問題の現状と課題：実態と対策の基礎—————13:00～15:30

- ・林地における歴史と現状
- ・農地における現状
- ・鉄道における現状
- ・道路における現状
- ・河川における現状
- ・メガソーラーにおける現状
- ・管理とクズの反応：対策の技術的基礎

第3部：クズと葛：地域の新たなシステム作りに向けて—————15:40～16:30

—総合討論—

<参加費> 無料

<参加申込み> 次頁の[参加申込み](#)にご記入の上、主催者あてお申し込みください。
会場の都合により、先着120名様までとさせていただきます。

講演者・話題提供者・コーディネーター（敬称略）

池村 淳（㈱アセント）
伊藤幹二（NPO 法人緑地雑草科学研究所）
小崎隆志（小崎葛布工芸㈱）
川本あづみ（㈱井上天極堂）
佐治健介（NPO 法人緑地雑草科学研究所）
波賀宏治（㈱白崎コーポレーション）
吉岡俊人（福井県立大学）

井出保行（(国研)農業・食品産業技術総合研究機構）
伊藤操子（京都大学名誉教授）
越智和彦（大同商事㈱）
黒川俊二（(国研)農業・食品産業技術総合研究機構）
榛葉貴博（掛川市役所）
山本嘉昭（(公財)河川財団河川総合研究所）

会場へのアクセス



〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38（JR 名古屋駅桜通口から徒歩 5 分）
ウインクあいち（愛知県産業労働センター）1001 号室
詳細は <http://www.winc-aichi.jp/access/> よりご確認ください。

参加申込み

（氏名・TELは必須）

フリガナ 氏名			
フリガナ 所属/団体名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

FAX：0778-62-3336、お電話：0778-62-2543、
または E-mail：k-saji@bousou-ken.org にて、
緑地雑草科学研究所事務局（担当：佐治）までお申し込み下さい。
定員に達し次第締め切りとし、参加不可能な場合にはご連絡申し上げます。